

ゴールデンウィークオススメ!!

下鶴島
瀬々野浦港
手打湾
ナボレオン岩
鷹ノ巣
ハナレ

南のつり
アドバイザー
野間辰美

『今日はタイだね、嬉しい!』
と家族も大喜び!

春た、桜だ、マダイだあーと、私の心もウキウキです。何かいきなり締めに入つたみたいですが、実は私はマダイ・イサキが大好きです。もちろんクロも好きです。でも、持って帰つても「また、クロ」「たまには違う魚を釣つてきて」と、言われる始末。たまに、マダイやイサキを持て帰ると、嫁さんや娘、実家、近所のおばさんまで「今日はタイだね、うれしい」と言われます。そりゃそうでしょう。なかば強制的に一年

中、クロばかり食べさせられれば、タイ等を持つて帰れば、喜びかたが違います。そこで、今回はノッコミマダイ、ノッコミ前のイサキをメインに考えていこうと思います。ただクロも釣れています。数は少ないですが、よい潮が入つて来た時とか、もちろんマズメ時でもいいです。何かしら海に变化のある時にバタバタと釣れている感じです。ただ、瀬々野浦があるように、釣れる磯と釣れない磯が、コ

やイサキのノッコミはちょっと違って、水深はそんなに浅くない所で、やはり潮通しのよい所、深場から駆け上がり状になっている所、比較的水深のある所で、10m以上で、20m前後あるような所にノッコミで来ると、私は考えていますので、そのような磯を選択するようにしています。例えば、岬の鼻だったり、潮がゴオーゴオーと流れる本流釣り場、逆に、奥まった所の深場がある磯などを選びます。

「マキエサ」

クロを狙いつつ、マダイ・イサキも釣ればという考えなので、クロ用のマキエサを準備します。

私の1日分(約8時間)のマキエサとして、沖アミ生3kgを3角。ジャンボアミ1角。マルキユの「V9」と「V10SP」、それと「超遠投グレ」を各1袋。これを2回に分けて作りま



超遠投グレは、ピンポイントへの遠投ができ、視認性も優れ、より広範囲へのアプローチができる

クロがダメなら、マダイ・イサキがあるじゃないか!

✓チェックpoint!!

狙い所:水深10m以上、20m前後、駆け上がり

配合エサ:クロ用+アミなど

ツケエ:大粒の沖アミでアピール

仕掛け:深ダナ、魚が大きい、ツケエサが大きい等々を考えて作る

タナ:エサが盗られるタナを探し、盗っている魚を確認しながらマダイの層を早く見つける

ロコロ変わるみたいで、船長さんたちも判断しにくいそう。なので、クロを狙いながら、釣れない時に、マダイやイサキを狙ってみようと言うのが、今回の作戦です。

「磯場選び」

クロのノッコミ(産卵準備行動)とは、主に水深の浅いゴロタ場だったり、沈み瀬が点在している所、堤防やテトラポット等に、群れで乗り込んで来ることを言いますが、マダイ



配合餌はクロ用のもので、集魚・拡散・遠投・視認性などを強調

作る時に気を付けているのが、アミをよく潰して、臭いを出すようにすることです。逆に沖アミは、なるべく潰したくないので、よく解凍しておき、そして混ぜる時に半分位原形が残るようにします。

配合エサの特徴としては、まず「V9」はまとまりがあつて、遠投もしやすく、海の中では拡散して、魚を集める効果が強い。V10SPは白い煙幕が潮流を教える。その下の視界の届くギリギリの所までの流れを教える。仕掛け作り、ウキ選び、仕掛け投入点まで、瞬時に判断することが出来る配合エサです。また、フェロモン効果

で魚の喰いを促します。

そして「超遠投グレ」は、狙った所にピンポイントに飛ばすのと、自系の粉が、マーカー的な役割をしてくれるので、仕掛け投入もさらに分かりやすく、しやすくなります。

ツケエサは、マルキユの「くわせオキアミV9」や「くわせオキアミSP」等の加工エサと、マキエサの中の沖アミを使っています。

ハリに刺す時は、潮が速い所では、まっすぐにツケエサを刺して、アピールさせます。1匹掛け、2匹掛けどちらでもよいですが、要はツケエサが海中で回らない様に、沖アミの真ん中にハリを刺して下さい。

潮がゆっくりな時は、ハリを隠すように丸く刺すと、仕掛けのなじみが早く、喰い込みもよいです。マダイ・イサキの場合は、比較的大粒の沖アミでアピールさせるのがキモです。

「仕掛け」

船釣りの場合は、70、80cmと大型のマダイが釣れますが、磯で釣れるマダイはアベレージサイズが50cm前後で、大型でも70cmクラスです。なので、仕掛けはクロ釣りの延長と考えると、タナが深くてよいのですが、タナが深い、魚が大きい、ツケエサを大きく等々を考えて、仕掛けを作ると、竿は1.5号前後で、道糸は1.75号から2.5号までがよいです。ハ



潮がゆっくりな時は、ハリを隠すように丸く刺す
潮が速い所では、まっすぐにツケエサを刺して、アピール

*比較的大粒の沖アミでアピールさせるのがキモ!!



※私の基本的なマダイ仕掛け

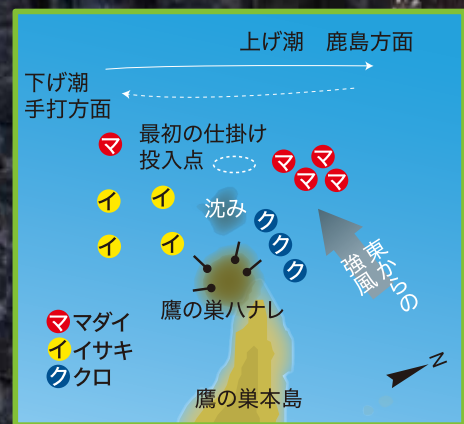
潮が動いている所を探し、左・右・沖とマキエサを撒いて、全ての場所を確認する

を微調整して、数を伸ばすようにします。後は仕掛け図を参照して下さい。

「実釣」

3月中旬、久しぶりの瀬々野浦行です。クロもたいぶ産卵に入つたよう、絶対調だった瀬々野浦エリアも、日ムラ、瀬々野浦が出たしたのこと。それでもここは瀬々野浦。何とか。クロがダメならマダイ・イサキがある。軽い気持ちで! いざレッツゴー!

船長に「タイはどうですか?」と尋ねると「ボツボツと釣れますヨ」



「流れ」をしっかり把握し、そこに仕掛けを入れる、もしくは、その流れに行く潮を探す。これが「磯マダイ」釣りの基本!

と、やや不安が残る答え。瀬々野浦と言え、インダイアテラ・クロと磯物の代表的な釣り場。最初からマダイ・イサキを釣ろうという人がいないのです。そこで船長に「タイとイサキが釣りたい」とお願いして、「鷹の巣のハナレ」に乗せて頂きました。

今日の潮は、小潮で満潮が朝の10時30分頃なので、朝から上げ潮を釣つて満潮から回収の13時まで下げ潮を釣ります。上げ潮は北流れ、下げ潮は南流れと分かりやすい潮です。朝6時30分に釣りスタート。マキエサを竿1本程先に打つて、エサ盗りや潮の動きを観察するが、何も居ない。マキエサも真つぐぐ下に落ちてます。「エツ、潮止まり



しっかり把握して、そこに仕掛けを入れる、もしくは、その流れに行く潮を探す。これが「磯マダイ」釣りの基本だと考えています。まず、最初に竿を曲げたのは釣

か?」確か、干潮は朝の5時過ぎのはずなので、もう上げ潮が入っている時間帯。そこで、潮が動いている所を探して、左・右・沖とあちこちにマキエサを撒いて、全ての場所を確認していると、沖の沈み瀬の先が僅かに潮が右に流れています。まずは、ここをポイントと決めて、仕掛けを入れます。

話しは変わりますが、クロはそんなに今の時期「流れ」にこだわらませんが、マダイやイサキは「流れ」を